

## 入笠山・車山スノーハイキング報告書

【山 域】八ヶ岳周辺

【ルート】一日目 富士パノラマリゾート～入笠山往復

二日目 車山高原スキー場～車山周回

【行動日】2019. 1. 23～24

【参加者】CL 柘植、SL 村尾、澤田路、磯部(記録)

【行程】1/23 (晴れ) 諏訪南 IC ⇒富士パノラマリゾート(駐車場)⇒(ゴンドラ)

10:25 山頂駅→10:50 入笠山案内図→12:00 頂上→ケーブル駅 13:00⇒原田泰治美術館⇒信州健康ランド(泊)

1/24(晴れ) 信州健康ランド⇒車山高原スキー場(駐車)⇒(スカイライナー～スカイパノラマ)9:30 車山山頂～健脚コースでトレッキングコース周回～11:40

車山高原スキー場(駐車)⇒諏訪南 IC⇒千葉

【内容】

天候を見て当初の計画「黒斑山と箆ノ登山」を「入笠山・車山」に変更して実施、私にとっては、今年初めて購入したスノーシューの体験が大きな目的だった。初日の富士パノラマリゾート駐車場は、平日にも拘わらず結構混んでいた。



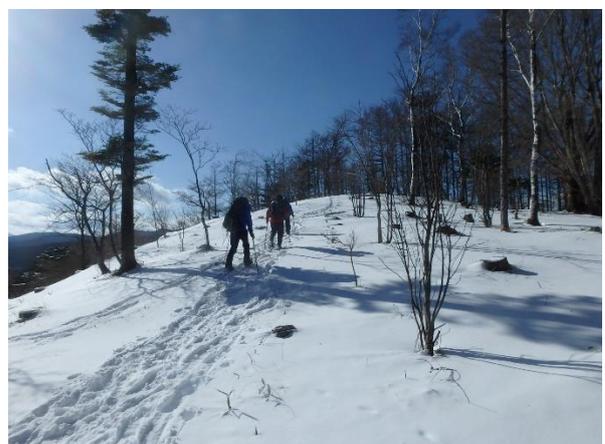
ゴンドラ乗り場にて



背後は八ヶ岳連峰



ゴンドラ終点のハイキングコース入口



いい感じの尾根筋だが道間違い

まずゴンドラに乗り山頂駅へ、周辺は人工雪ではなくそれなりの積雪が見られる、早速スノーシューを付けて歩き始めるが、踏み跡に沿って歩いていくと行き止まりになっていて、正規の道に行くまでに大回りをすることになってしまった。

入笠山湿原を通るが木道の上はスノーシューではやはり歩きにくい、何とか脱がずに通り過ぎた。徐々に雪が深くなり傾斜が出てきたので、指示された通りにかかとを上げると、かなり楽に歩けるようになった。頂上が近くなるにつれ風が強くなり寒くなってきた。頂上からは、諏訪湖が見えたが残念ながら他の山は上のほうが雪雲に隠されている。帰りはスノーシューをはずしてリュックに括り付けて下った。

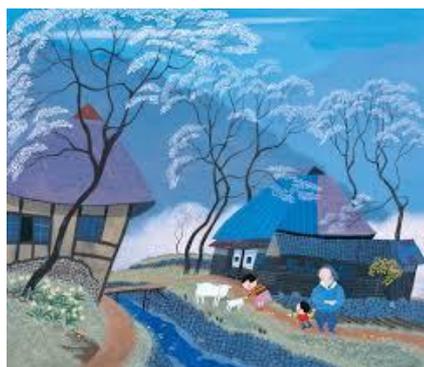
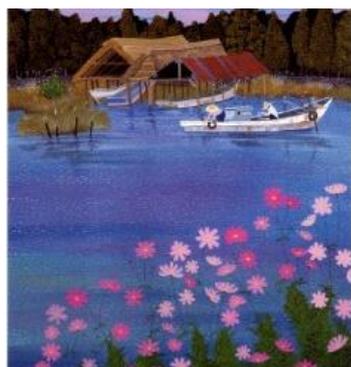


木道スノーシューハイク



山頂記念写真

その後は原田泰治美術館にて美術鑑賞、暖かな絵に心を癒されて健康ランドに向かった。



NETで画像公開されている絵2点



諏訪湖畔の美術館の外環

二日目は、車山高原スキー場に駐車してリフトにて車山に登る。8時半過ぎにリフト券売り場に着いていたのに、9時からでなければ売れないということで待たされ、中学生の団体の後に続いたので車山頂上到着は9:30になった。リフトで100名山に登ってしまったことを知り、驚く。上空には重い雪雲が垂れこめており気温が低く風が冷たい。



霧ヶ峰の概念図（今回は小さく周り）



重い雲が垂れこめた車山の山頂

今日はスノーシューを付けずにトレッキングコースを周回する。コロボックルヒュッテを遠く見下ろしながら下っていく、徐々に晴れてきて雪を纏った南アルプスが望まれる。雪が付くと山肌があらわに見え、その山容が際立ち迫力を感じる。休業中のレストラン前にて暫し休息し帰路に就く。

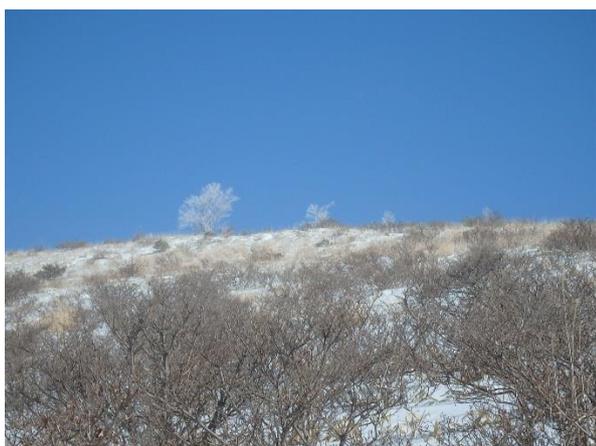


正面の南アルプス方面は青空



車山の肩とコロボックルヒュッテ

上のほうが雲に隠れているが八ヶ岳の全容が目の前に見える。編笠山の長いスロープ、その後ろに富士山、蓼科山も目の前に堂々とした山容を見せてくれている。スキー場の脇を通過して駐車場に昼近くに到着。



稜線の霧氷の白樺が美しい



車山乗越を越えると蓼科山の雄大な姿



ノートレースの尾根を雪を蹴散らして下る



ゲレンデに出ると八ヶ岳連峰が眼前に

帰路は日本で最も美しい村と言われている原村を通った。この長閑な村の道から、山の上からは見ることができなかった、八ヶ岳の全容を、そして甲斐駒の雄姿を見ることができて大いに満足した。



帰りの道路上から眺める八ヶ岳南部の全容

参加メンバーのみなさん、運転をはじめ経験を生かされた有効なアドバイスもありがとうございました。これからも能力に見合った冬山を楽しんでいきたいと思いをます。

報告(磯部)